

表紙, 目次, Contents, 投稿規程, 編集規程, 執筆者紹介, 裏表紙

引用	人文学論集. 35
URL	http://hdl.handle.net/10466/15303

人文学論集

2017
vol.35



表紙の言葉

新しい表紙となった。筆を四本使ったの合作である。墨は勝山製の「神戸川（かんどがわ）」という青墨、紙はタイで購求した手作りのもの。まず私XING Cheが太い筆で左から横払いに一筆。つぎにNooootmk氏が同じ筆で山なりの線を重ねた。重なると少し濃くなる。つぎに私XING Cheが油絵の筆で中くらいの線を描いた。

うーん。思っていたようなガサガサの線にならない。つぎにNooootmk氏が濃い線を露鋒ですっと引いた。

狸羊の筆らしい。いい感じ。最後に私が細い筆をふらふらと動かして斜めの線を交叉させた。重なりあったところは少し滲んだ。青墨なので、たっぷりと水を含ませて、もっと滲ませればよかった…と思いつつ筆を擱（お）いた。やりなおしはしない。すれば面白い線がでるかもしれないが、作為が透けてみえて、そのぶん、つまらなくなる。

誰かが線を引いて、さらに誰かが線を重ね、そこにまた別の誰かが…。その積み重ねで、いつのまにか雑誌ができあがっている。誰もが線を引くことができる。そしてここに線を引きたいという希望も多い。

線が重なりあって滲んだ部分は、ふしぎな模様となり、個性となり、自己の存在を主張しはじめる。

人文学論集は、これまででも、そしてこれからも、そんな雑誌なのだろう。

目 次

論文

Der Impuls der Bildungsidee und die Entfremdung von eigener Denktradition
Ein Rückblick auf eine verlorene philosophische Kontinuität in Japan
杉 山 雅 夫 … (1)

Stipendium 狂騒曲
—ドイツやドイツ語圏スイスにおける給付型奨学金の伝統—
佐々木 博光 … (19)

重新考訂李攀龍《唐詩選》的意義
顧 春 芳 … (37)

荻生徂徠漢詩中的世界想像
雛 志 達・宋 琦 … (51)

来华本科留学生课程分析与研究
—基于某大学的调研数据—
管 斌 … (61)

应用型日语专业人才培养模式的探索与实践
—以“上海商学院”为例—
洪 偉 民 … (69)

研究ノート

『後漢書』儒林伝と『史記』儒林伝—直言の系譜
湯 城 吉 信 … (83)

論文

釜鳴をめぐる怪異観の展開とその社會受容
佐々木 聡 … (1)

訳注

元の丘処機『攝生消息論』全訳注
—今に活きる「春夏秋冬」四季折々の食養生法、健康法、病気の診断法と治療法の手引書—
水 野 杏 紀・平 木 康 平 … (19)

THE HUMANITIES (JIMMONGAKU RONSHU)

VOL. XXXV 2017

CONTENTS

Research Articles

Der Impuls der Bildungsidee und die Entfremdung von eigener Denktradition
Ein Rückblick auf eine verlorene philosophische Kontinuität in Japan
Masao SUGIYAMA... (1)

A Historical Study of *Stipendium* in Germany and German-speaking Switzerland
Hiromitsu SASAKI... (19)

On Re-Corrigenda to Li Panlong's Selection of Tang Poems
GU Chunfang... (37)

The Imaginary World Expressed in Ogyu Sorai's Poems
LUO Zhida/ SONG Qi ... (51)

Research on the Undergraduate Curriculum for International Students in China
--Analyzing the Survey Data of a University
GUAN Bin... (61)

Formulating the Career-oriented Training Model for Japanese Majors
--A Case of Shanghai Business School
HONG Weimin... (69)

Research Note

Rulinzhuan in *Houhanshu* and *Shiji*: A Genealogy of Remonstrations
Yoshinobu YUKI... (83)

.....

Research Article

A Common Idea of Mysterious Phenomena, 'Fuming' and its Change
Satoshi SASAKI... (1)

Translated with Notes

Theory about the Care of Health, an Annotated Translation
Aki MIZUNO, Kohei HIRAKI... (19)

『人文学論集』は、人文学の領域における
研究の学術的成果を掲載し刊行することで、
人文学に関わる教育と研究の向上に貢献することを目的とする。

『人文学論集』投稿規程

1. 本論集に投稿する資格を有するのは大阪府立大学人文学会員とする。会員の推薦があれば、非会員からの投稿も受けつける。
2. 会員、非会員による投稿はすべて、査読を経て、掲載の可否を決める。
3. 学生による投稿は、当該学生の指導教員の推薦を必要とし、指導教員以外の査読者による査読を経て、掲載の可否を決める。
4. 投稿は、学術論文、翻訳・訳注、研究ノート、書評の4種とする。
5. 投稿はすべて未発表のものに限り、研究水準の高さを確認できるものでなくてはならない。また研究公正について問題があってはならない。
6. 学術論文、翻訳・訳注は、一編1万8000字程度とする。それを大幅に超える場合は、投稿に先立って編集委員に相談のこと。
7. 研究ノートは一編8000字程度、書評は一編4000字程度とする。それを大幅に超える場合は、投稿に先立って編集委員に相談のこと。
8. 投稿締め切りは12月末日、ただし学生の投稿締め切りは9月末日とする。投稿先は、人文学論集編集委員会とする。
投稿希望の場合は7月末までに投稿申込書を提出すること。
9. 投稿の際は、ソフト名と投稿者名を明記した電子媒体等と、プリントアウト原稿を提出すること。
10. 図版、挿画は画像ファイルとして電子媒体等に入れるか、写真として添付し図版番号を明記する。なお、図版、挿画の著作権許諾（複製権、公衆送信権を含む）に関わる責任は投稿者が負う。責任が明示されない場合は掲載に至らないこともある。
11. 欧文題目ならびに投稿者氏名のアルファベット表記も併せて提出のこと。
12. 掲載文の著作権は大阪府立大学人文学会に帰属するものとする。
13. 掲載文は、原則としてすべて、編集委員会の議を経て、大阪府立大学学術情報リポジトリで公開される。

投稿申込書(提出締切は7月末日)

所属：

氏名：

題目(仮題目)：

投稿文の種類：学術論文、翻訳・訳注、研究ノート、書評のいずれか

執筆言語(日本語、中国語、英語、フランス語ほか)：

字数：

「大阪府立大学人文学会」の会員になることを希望される方は、編集委員会にご連絡ください。(学生は会員となることができません。)

『人文学論集』 編集規程

1. 『人文学論集』の掲載文はすべて、大阪府立大学人文学会の委嘱を受けた編集委員で構成する編集委員会の議を経て決定する。
2. 掲載文は、原則として投稿による。ただし編集委員会の議を経て、原稿を依頼することもできる。
3. 人文学会員の退職に際して退職記念号を刊行することができる。その場合は、投稿規程に定める4種以外の原稿を掲載することができる。また、原稿を依頼することもできる。
4. 依頼原稿の著作権、リポジトリ公開については、投稿規程にある定めと同様とする。
5. 編集委員会は、投稿原稿、依頼原稿の別にかかわらず、その内容、表現等についての問題点を指摘し、執筆者に検討をうながすことができる。
6. 編集委員会は投稿文の内容の専門性に応じて、会員に査読を依頼することができる。また、必要に応じて、会員以外の研究者に査読を依頼することもできる。
7. 学生からの投稿論文の査読委員、依頼方法については、教育的見地から別に定める。
8. 査読者氏名は公開するが、その時期、方法は編集委員会が決める。
9. 査読委員は、以下の評価基準に照らして査読し、評価内容、修正の要不要、掲載の可否等を編集委員会に報告する。評価基準は、新知見の有無、論述内容と形式の妥当性、研究公正性とする。

ただし、学生からの投稿論文を査読する際の評価基準については、教育的見地から別に定める。
10. 編集委員会は、査読委員の報告を受けて協議し、その結果を投稿者に通知し、報告記録を残す。
11. 『人文学論集』発行の費用について、必要な場合は、会員が負担する。

編集委員

大形 徹 ohgata@hs.osakafu-u.ac.jp
顧 春芳 chunfang@las.osakafu-u.ac.jp
萩原弘子
大平桂一
櫻井俊郎
張 麟声

執筆者紹介

- 杉山 雅夫 高等教育推進機構教授
- 佐々木博光 人間社会システム科学研究科准教授
- 顧 春芳 高等教育推進機構教授・人間社会学研究科兼任
- 佐々木 聡 大阪府立大学・日本学術振興会特別研究員P D
- 籾 志達 上海師範大学中国古典文献学学科中国詩学専攻博士後期課程
- 宋 琦 総合研究大学院大学文化科学研究科博士後期課程
- 管 斌 上海財經大學國際文化交流學院副教授
- 洪 偉民 上海商学院日本語学科学科長・副教授
- 湯城 吉信 大阪府立大学工業高等専門学校教授
- 平木 康平 大阪府立大学名誉教授
- 水野 杏紀 大阪府立大学客員研究員・関西医療大学非常勤講師

二〇一七年三月三十日

人文学論集 第35集

編集兼

〒8559311

堺市中区学園町一番一号

発行者

☎〇七二(二五二)一一六一(大代表)

大阪府立大学 人文学会

印刷所

〒0503741

大阪市北区本庄東二―一三―二一

☎〇六(六三七)七一九八(代表)

有限会社扶桑印刷社

発行所

〒8559311

堺市中区学園町一番一号

☎〇七二(二五二)一一六一(大代表)

大阪府立大学 人文学会

ISSN 0289-6192

人文学論集

大阪府立大学人間社会システム科学研究科

2017
vol.35